

G・トリアルGT-R

大上 宏サン

■ガレージトリアル高松 TEL087-870-6263

走行距離は10万kmを突破。エンジンに無理を強い適度なチューニングワークで、今も目立ったトラブルはほとんどなし。「RB26は強く、ホントにいいエンジンです」



タービンは、ボールベアリングタイプで低速に強いアベックスのAX53B60-P21をチョイス。カムは東名のハイカム (IN/EX256度) に交換。ピークエンドの伸びを高める



マフラーはフロントパイプから全て交換。徹底的に作りこまれたエキゾーストシステム。メインは80φ、テール径は140φ。メタル触媒を組み込みつつもバツグンの抜けを誇る

レスポンスを重視して
パーツを選んでいきます



吸排気系のチューニングを、特に慎重に行った大上サン。インタークーラーは、排気系とのマッチングも考慮。圧力損失の少ないコアサイズの小さめのARCを使っている

SPECIFICATIONS

最大ブースト1.2kg/cm²、パワー500ps、A'PEXi AX53B60-P21、HKS F-CON V-Pro、HKS EVC、NISMO F/P、A'PEXiアクチュエーター、HKSフロントパイプ、HKSパワーフロー、EXEDY ツインプレートクラッチ、ARC VG、HKS O/C、セイフティー21 7Pロールオーバー、クワンタム、スウィフト (F R:14kg/mm)、プレンプ4POTキャリパー、F-RAMS R:PPGパッド、APP Bホース、RAYS SE37K、ADVAN A048 (F R:255/40-17)、TRIALフルエアロ、TRIAL GTウイング etc

バランス命のフル公認車 ストリートもゲキ速なのだ



四国からエントリーの大上サン。マシンはエンジン本体こそノーマルだが、その他はボディチューンをはじめほとんどの部分に手が加えられた完成度の高い1台。ホームコースはシヨートでテクニカルな四国の阿賛サーキットというところもあって、エンジンはパワーよりもレスポンス重視の方向でチューン。タービンはAX53B60-P21をツインで装着。ブースト1.2kg/cm²で500psのパワーを得る。特にコダワリをもってチューニングされているのが排気系で、フロントパイプからテールエンドまでアッセンブリで交換。触媒はサーキット走行時もスポーツタイプのメタル触媒を使用し「低速からピシッ加速する。GT-Rは公認仕様でも満足いく速さに仕上がってくれます」という大上サン。

500psを超えるT2クラスはバランスがキモ!!

RB26はチューン次第で強烈なパワーを手中にできる。ただレースの場合はあまり欲張らないのがセオリー。またタービンはレスポンスを考慮してチョイス。パワーに合わせすべてをバランスよくチューンする。これが完璧に仕上がればFDなんてメジャないぜ!!



GT-R

実用仕様で速さもダントツ TIを1分45秒でラップする!!



「フダクも乗っているクルマですから、タービンも実用的なモノを選んでいきます。ブーストも低めにセッティングして、なるべくエンジンに負担をかけないようにしているんです。おかげで1年間、ブツ飛ばし続けてもトラブルはなし。出るレースはいつも最後の最後まで、アクセル全開です!」と飯屋サン。

「ほとんどのパワーでも速さはダントツで、今回のレースでも見事に優勝。ムリしなくても1分45秒は確実に。タイヤが新品ならもっといけますよ!」とのこと。

しやしやしやで浜岡シャーシー~

飯屋善行サン

■オートセレクト TEL072-885-6206



エンジンチューンは、ベースのポテンシャルを使い切る方向。ちなみに、飯屋サンは鈴鹿でFJを走らせるフォーミュラドライバー。ドライビングテクニックは並じゃないぞ!!



低回転域からブーストが掛かり始める、N1タービンをセット。最大ブーストは1.1kg/cm²の設定。過給圧はEVCでコントロールする。排気系はオートセレクトで統一している



コンピュータはHKSのF-CON V-Pro。オートセレクトの手により現車に合わせて完璧にセッティングされている。室内にはロールオーバーもなし。街乗りもチョー快適なT2仕様車だ

5速、1500rpmでも
ラクに走れますねん

SPECIFICATIONS

最大ブースト1.1kg/cm²、パワー540ps、N1タービン、HKS F-CON V-pro、HKS EVC、HKS I/Gパイピング、ASオリジナルフロントパイプ、ASオリジナルEXマニホールド、アルミラジエーター、NISMOフェューエルポンプ、EXEDY ツインプレートクラッチ、RAYS TE37、ADVAN A048 (F R:265/35-18)、ASオリジナルブレーキパッド、アルズブレーキホース、ASデビルスホイール、ASデビルウイング、BRIDE/バケットシート、sabelt 4Pシートベルト、etc



「ストリート走行も考えているくらいの方が、乗りやすく、結果的に速いクルマにできるとちやいますか」。タービンサイズは小さめに、高速の伸びは東名のハイカムで稼いでいる

さらに熱いバトルが繰り広げられ

レースといえば忘れちゃいけない

キャンギャル!

サーキットの華

そして、レース以上にサーキット全体を盛り上げてくれたのがこのギャルたち。しかも読者の皆さんゴメンナサイ。情けないことに、カンジンの名前を聞くのを忘れてしまいました(レブ編)

来年もここでお待ちしています♡

みんなうちのチームをちゃんと応援してね♡

なななやつぱりレースよりギャルだろ!!

「T103に華を添えてくれたサーキットレディ、やっぱりサーキットイベントにはコレがないと始まらないよ♡」



思わずチアリーダーを思わせるコスチュームで、ギャラリーの視線を浴びていたオートアキュのキャンギャル

「オイオイ今日のレース誰が勝つと思う?」「それよりむこうのオンナのかわいくない?」なんて、言ったりして……

に事が運はずセットアップに奮闘していた。また、フリー走行でトラブルに見舞われ、ただ茫然と時を過ごすだけのシヨップもあった。そして決勝レース当日。早朝からコース上を濡らしていた雨も午後には上がり青空を見せ、まるでスタートを待ち望んでいるかのような様子だった。

そして、運命の時が来た。コントロールライン上のシグナルのレッドが消えた時、40台のフルチューニングマシンが、まだ見ぬ5周先のゴールを目指し、一斉にスタートした。

まず、オープニングラップの1コーナーでは、イエローシャークとスティルウェイエボVIIがサイドバイサイド、よもや接触寸前という距離のまま突入。その後も各コーナーでは異種格闘技ばりの戦いが展開された。結局この壮絶なレースを制したのは、前日の駆動系トラブルを見事に修復して決勝に臨んだ、オートセレクトのイエローシャーク。ターボクラス4連覇という偉業を成し遂げた。



結果的にトップでチェッカーを受けたのはイエローシャーク。その後、九州から遠征組デイスайд33GT-R、スティルウェイと続いた

また、NAクラスでは前日から快調な走りを見せていた、J'sレーシングのS2000が果敢な走り、C-WESTのS2000を抑え込み優勝を飾った。

この壮絶なバトル。レブスピードは、是非とも来年も自分達の目で観戦したいと感じたのであった。

ターボクラス、NAクラスを制したのはチューナー兼ドライバーの、澤センジュ、うめもとセンジュであった。レース終了後、表彰台で祝杯をあげる入賞センジュたち



スーパーチューナーズバトルTURBOクラスリザルト

順位	セク	ドライバー	車両	車名	ベストタイム
1	1	澤誠二郎	BNR34	ASイエローシャークGTR制動屋	1'38.200
2	10	井入宏之	BCNR33	デイスайдかつとび まるやまR	1'39.099
3	23	瀬戸秀俊	CT9A	スティルウェイエボ7	1'39.042



スーパーチューナーズバトルNAクラスリザルト

順位	セク	ドライバー	車両	車名	ベストタイム
1	69	うめもとけんいち	AP1	J's RACING S2000	1'44.322
2	43	尾本直史	AP1	C-WEST S2000 PROTO TYPE	1'44.905
3	8	マツモトヒロシ	EFB	J's RACING CR-X	1'44.541

さらにコース以外でも熱いバトルが!!

ストレート上のパドックでは、ドレスアップイベント「SHOW-UP」が開催。こちらは本コースのレースとは違いエキゾーストサウンドの代わりに、ビートの聞いたサウンドが響いていた



こちらのSHOW-UPギャルは、ドレスアップカーに負けなくらいコスチュームもハデで超キュート。思わず取材を忘れて、立ち止まってしまっていました

ピットで注目アイテムを発見!!



RS★RのD1シルビアには、岡山のスマイル(TEL 086-292-3160)が発売予定のトランクスルーバー(価格は未定)を装着していた。ロールバーが装着されているも、リアまわりの剛性アップは体感できるという

マーキュリー



サイドポートの13BにT45タービン。ストリートカーに近いデモカーに注目!

ガレージ八幡



ウエストゲートのパイプ破損やレース中に窓がくもるなど、苦難を乗り越える森田サン

フルステージ



T88で650psというR34は、まだシェイクダウンだからこれから期待してほしい

ライブ



どハデなS14は本来のブーストを抑えて400ps仕様。レースではシルビア勢最速だったぞ

フィアスレーシング



T1サーキット仕様のS13を製作してきた錦迫サン。ミッションブローが残念!

トライアル



デモカー、スーパーの前で、本戦はお休みだったけど、ピットの注目度は高かったぞ

DR00-P



こちらのハチロクは20バルブ4A-GをNAチューン。エスベリアカラーがまぶしい!

MACインターナショナル



16バルブ4A-GでS14純正タービンを回すハチロク。セッティングはVproで行っているぞ